

「生涯活躍のまち」構想の早期策定について（継続）

地域産業並びにコミュニティを支える人材獲得のための、全世代・全員活躍型の「生涯活躍のまち」構想の早期策定を要望いたします。当所ではアクティブシニア世代の移住の受け皿とすべく、令和2年度より桐生版 CCRC (Continuing Care Retirement Community) 構想の早期策定をお願いしてまいりました。現在、国も中高年齢者の移住から全世代・全員活躍型へと方針が転換されているとのことです。桐生市においても、定住・移住を問わないあらゆる世代の人が生涯活躍できるまちづくりを目指すうえで構想の必要性は高いと考えます。

創業意欲を持つ人への支援や、空き屋を活用した住居提供、まちの賑わいを生む交流スペースの整備など、桐生市の既存サービスは充実しております。中高年齢者と子育て世代を含む若年層が共生する桐生ならではの特性を生かし、桐生の暮らしやすさを構想として示すことで、全世代・全員活躍が進むまちとして移住者の獲得にも期待できるものと存じます。人口問題の改善、地域の消費喚起、雇用の維持・創出など、地域活性化にも効果が期待できることから、構想の早期策定について検討いただけますようお願いいたします。

桐生市からの回答

「生涯活躍のまち」は、国の総合戦略における取組方針の一つ「魅力的な地域をつくる」に位置付けられたもので、女性、若者、高齢者、障害者など、誰もが居場所と役割を持って活躍できるコミュニティづくりを目指すものです。その推進にあたっては、‘交流・居場所’、‘活躍・しごと’、‘住まい’、‘健康’、‘人の流れ’といった観点が中長期的に満たされるよう、分野横断的かつ一体的な取組を実施することが重視されています。また、国の総合戦略が令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」と改定され、デジタル技術の活用という視点も加わりました。

本市におきましては、「生涯活躍のまち構想」の策定は予定しておりませんが、その考え方を取り入れながら、桐生市第六次総合計画後期基本計画の策定や、桐生市版総合戦略の改定を進め、誰もが活躍できる魅力的な地域づくりを進めてまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 共創企画部企画課企画戦略担当